

テピアの視点 中国、「電力化率」引き上げに本腰

中国国家能源局によると、2015年の中国の電力消費量は5兆5500億kWhを記録し対前年比で0.5%の増加にとどまった。世界最大の電力消費国であることに変わりないが、1人あたりの電力消費量は、米国や日本、欧州先進国などと比べると大きく下回っている。主要国の水準を下回っている電力指標がほかにもある。一次エネルギーに占める電力の比率を表す「電力化率」だ。中国政府は、一次エネルギーの電力への代替を進め、エネルギー消費革命を推進するとともにエネルギーのクリーン化を促進する方針を打ち出した。

国家発展改革委員会をはじめとした8省庁は2016年5月24日、「電力代替の推進に関する指導意見」（2016年5月16日付）を公表した¹。それによると、2016～2020年の「第13次5ヵ年計画」期において、エネルギー最終消費段階での粉状の粗悪な石炭や燃料油の使用を止め、標準炭換算で1億3000万トンを電力で代替するという目標を掲げた。これによって、石炭の消費総量に占める電力向けの割合は1.9%、また最終エネルギー消費に占める電力の割合は1.5%上昇し約27%に達する。ちなみに、主要国の電力化率は、フランス49.8%、日本42.4%、米国38.8%、英国36.9%、ドイツ32.9%（いずれも2012年実績）となっており、中国を大きく上回っている。

中国では、大量の石炭や燃料油の燃焼にともない大気汚染が深刻化している。中国は毎年7～8億トンの「散焼煤」と呼ばれる粗悪な粉状の石炭を消費。暖房用のボイラーや工業用の小型ボイラー、農村部などで使われている。中国では毎年、30億トンを超える石炭が消費されていることから、こうした粗悪な石炭は全体の20%を占める。これだけの量の石炭が、何の浄化処理も施されず燃やされるため、大量の汚染物質が大気中に放出される。このほか、自動車や航空機の補助動力装置などで使用される燃料油も重大な汚染源となっている。

中国では石炭消費のほぼ半分が電力向けとなっている。また電力の約4分の3が石炭火力によって賄われている。石炭火力のシェアをさらに引き上げることに疑問がないわけではないが、発電に使われている石炭の品質管理が徹底されているため、「散焼煤」の使用を減らすためにも石炭火力発電を増やし電力化率を引き上げた方が合理的という判断が働いている。

中国工程院の倪維斗院士によると、中国の石炭火力発電所のクリーン度は世界的な水準に

¹ http://www.sdpc.gov.cn/gzdt/201605/t20160524_804439.html

達しており、問題は石炭消費の残りの半分を占める工業用と生活用の石炭だ。倪維斗院士によると、中国には現在、約 70 万台の工業用ボイラーがあり、これらの燃焼効率も石炭火力発電所のそれを大きく下回る。しかも、排出物の厳格な処理・汚染管理が行われていない。家庭用も同様で、家庭で使用される 5000 万トンの石炭の燃焼にもなって大気中に排出される汚染物質の総量は、火力発電所で使用される 10 億トンの石炭に等しい（倪維斗院士）。²

今回公表された指導意見では、4500 億 kWh の電力消費増加を見込んでおり、これによって煤煙と粉塵が約 30 万トン、二酸化硫黄が約 210 万トン、窒素酸化物が約 70 万トン、それぞれ排出が抑制されると試算している。

それでは、具体的にどのような方策によって、こうした目標を達成しようとしているのか。指導意見では、以下の 4 つの重点分野が提示されている。

- ①北方地区の住民の暖房
- ②生産製造分野
- ③交通運輸分野
- ④電力の供給・消費分野

このうち交通運輸分野では、電気自動車の充電インフラの建設をサポートし、電気自動車の普及・応用を推進するとしている。電気自動車を含めた中国の「新エネルギー自動車」（新能源汽车）の 2015 年の生産台数は約 34 万台、販売台数は約 33 万台となり、それぞれ前年に比べて 3.3 倍、3.4 倍という高い伸びを示した。2016 年の販売台数は 70 万台に達すると見込まれている³。また、電力の供給・消費分野では、再生可能エネルギーの占める割合が比較的大きいグリッドにおいて電力貯蔵装置の普及・応用をはかり、系統調整能力を引き上げるとしている。

中国政府は、指導意見で掲げた目標を達成するため、政策面で各種の支援策を講じる。主要先進国の水準まで電力化率を引き上げるのは一朝一夕にはできないが、生活改善や産業活性化、環境改善の面からも電化の促進は中国にとって避けて通れない道だ。

（窪田 秀雄）

² http://news.xinhuanet.com/power/tt/2014-03/31/c_1110019475.htm

³ http://www.gov.cn/xinwen/2016-01/12/content_5032406.htm

目次

【中国】【原子力緊急事態】重大事故に対応する「中国核応急救援隊」を設立	4
【中国】【原子力緊急事態】江蘇省が「原発計画規制区域」設定へ	4
【中国】【原子力設備】中核集団が設備の標準化をメーカーに要請	5
【中国】【原子力産業基地】中核集団と海塩県政府が協力強化で合意	6
【中国】【原発計器標準化】中核集団総工師が原発計器の標準化に言及	6
【中国】【原子力用蓄電池】上海核工程設計院と南都電源が原発向け蓄電池共同開発へ	7
【中国】【原発建設手続き】原発建設にともなう海洋機能区画変更を承認	7
【中国】【原発寿命延長】原発の寿命延長技術研究が検証をパス	7
【中国】【原発寿命延長】原発の寿命延長技術テーマにシンポ開催	7
【中国・米国】【原発寿命延長】秦山1号機の寿命延長で米国立研の協力受ける	8
【中国】【国産第3世代炉】「華龍一号」の設備国産化率が89%に	9
【中国】【AP1000】世界初の「AP1000」で冷却材ポンプの点検動作作業が終了	9
【中国】【CAP1400】中国の大型炉「CAP1400」にIAEAがお墨付き	10
【中国】【核燃料】「AP1000」向け核燃料生産ラインの鑑定作業がスタート	10
【中国】【官民原子力協力】中核集団が湖南省と小型炉などで協力継続へ	10
【中国】【原子力グローバル人材】原発輸出めざし原子力グローバル人材養成へ	11
【中国】【イノベーション戦略】中国、自主イノベーション能力引き上げ目指す	11
【中国】【電力消費】中国の4月の電力消費、対前年比で1.9%増	12
【中国】【土壌汚染】中国政府、土壌汚染対策に本腰	12
【中国・インドネシア】【高温ガス炉】中国がインドネシアのHTGR実験炉の入札参加へ	13
【中国・アルジェリア】【原子力商談】大型炉や小型炉の協力を協議	13
【中国・カナダ】【ウラン資源】中国とカナダ企業がウラン資源開発協力を強化へ	14
【中国・スーダン】【原子力協力】中国がスーダンに60万kW原発建設へ	15
【中国・ロシア】【エネルギー協力】エネルギー協力委員会が開催	15
【中国・ロシア】【原子力協力】中露が原発や高速炉、浮動式など協力継続を協議	16
【中国・韓国】【原子力協力】中・韓共同で原発の事故リスク評価へ	16
【中国・米国】【原子力協力】中国国有原子力大手が米DOEと原子力協力を協議	17
【中国・米国】【進行波炉】中・米企業が「進行波炉」で協議	18

中国

【中国】【原子力緊急事態】重大事故に対応する「中国核応急救援隊」を設立

国家核事故応急協調委員会第5期第3回会合が2016年5月24日、北京で開催され、「中国核応急救援隊」の設立が正式に発表された(=写真)。厳しい条件下での原子力重大事故の指揮や緊急処置、救援任務などにあたる。国際的な原子力緊急事態に対しても救援活動等を行う。また、会合では「国家核応急工作『第13次5ヵ年』規画」が原則承認され、6月から7月には正式発表の見通しとなった。⁴

救援隊は国家レベルの組織で総勢320名。「指揮協調・技術支持」、「突撃緊急援助」、「工程緊急援助」、「緊急モニタリング・放射線防護」、「除染・消防」、「医学救援」の6つの分隊で構成されている。また、救援隊は、事故現場シミュレーション訓練基地、操作技能訓練基地、理論数学基地を所有する。



出典：国家国防科技工業局

(<http://www.sastind.gov.cn/n112/n117/c6421722/content.html>)

【中国】【原子力緊急事態】江蘇省が「原発計画規制区域」設定へ

⁴ <http://www.cnnc.com.cn/publish/portal0/tab664/info98645.htm>

2016年5月23日に開幕した江蘇省の第12期人民代表大会第23回会議で「江蘇省核事故予防・应急管理条例（草案）」の審議が始まった。

それによると、原子力施設の立地点選定や設計、建設、運転、廃止措置等に当たっては原子力事故の発生を考慮するとともに有効な予防措置をとり、原子力事故を予防する施設や設備を設置することによって周辺環境ならびに公衆の安全を確保することを明記した。また、原子炉を中心とした最小半径5kmを「計画規制区域」（規画限制区）として設定し、ここには原子力安全をおびやかすと考えられる引火性、爆発性、腐食性の物品の生産、貯蔵施設、または人口が密集するような場所を作ってはならないと規定した。^{5, 6, 7}

【中国】【原子力設備】中核集団が設備の標準化をメーカーに要請

中国核工業集团公司の銭智民総経理は2016年6月1日、圧力容器や蒸気発生器など原子力発電向けの大型コンポーネントの主要メーカーである中国一重集団の劉明忠董事長と会談。銭総経理は、同集団が国内外で市場展開する「華龍一号」（PWR、100万kW級）の建設が本格化するのに備え、設備の標準化を基礎としてさらに最適化を行うよう希望すると述べた（=写真）。⁸



出典：中国核工業集团公司

⁵ <http://www.china5e.com/news/news-945013-1.html>

⁶ <http://www.cnn.com.cn/publish/portal0/tab664/info98640.htm>

⁷ http://www.jsrd.gov.cn/cwhzt/21_8342/wenjian/201605/t20160523_426278.shtml

⁸ <http://www.cnn.com.cn/publish/portal0/tab293/info98801.htm>

【中国】【原子力産業基地】中核集団と海塩県政府が協力強化で合意

中国核工業集团公司傘下の原子力発電持株会社である中国核能電力股份有限公司の陳樺総経理は 2016 年 5 月 25 日、浙江省海塩県人民政府の沈暁書記と会見し、協力関係を強化することで意見が一致した（=写真）。⁹

陳総経理は、同集団と海塩県政府が多くの分野で実りある協力を行ってきたとしたうえで、中核集団傘下の企業も海塩県の経済社会の発展に重要な貢献をしてきたと述べ、今後さらに協力を強化したいと強調した。これに対して沈書記は、中核集団が海塩県の発展を支援するよう希望すると語った。

中核集団は浙江省政府との合意により、中国でも有数の原子力基地である秦山原子力発電所が立地する海塩県で、県政府の支援のもと「核電城」プロジェクトを進めている。



出典：中国核工業集团公司

【中国】【原発計器標準化】中核集団総エンジニアが原発計器の標準化に言及

中国核工業集团公司の雷増光・総エンジニアは、原子力用計器類等の標準化が重要だとしたうえで、技術や製品、サービスの海外進出を促進するためにも各種の基準を国際的な水準まで引き上げることが必要だと強調した。同集団が 2016 年 5 月 12 日、第 5 期全国原子力標準化技術委員会と第 3 期全国原子力計器標準化技術委員会での雷氏の発言として紹介した。¹⁰

⁹ <http://www.cnnc.com.cn/publish/portal0/tab664/info98690.htm>

¹⁰ <http://www.cnnc.com.cn/publish/portal0/tab664/info98387.htm>

【中国】【原子力用蓄電池】 上海核工程設計院と南都電源が原発向け蓄電池共同開発へ

国家核電技術公司傘下の設計院である上海核工程研究設計院と浙江南都電源動力股份有限公司は2016年5月7日、戦略協力枠組み協定を締結した。原子力発電用蓄電池や移動式エネルギー貯蔵システム、ピーク調整用エネルギー貯蔵発電所等の分野で協力するほか、第3世代原子力発電設備の国産化を共同で推進する。¹¹

【中国】【原発建設手続き】 原発建設にともなう海洋機能区画変更を承認

中国核工業集团公司は2016年5月19日、国家海洋局が同17日、漳州原子力発電プロジェクトの海域を含む福建省の海洋機能区画修正案を正式に承認したのを受け、同原子力発電プロジェクトの「前期作業」実施に向けて大きく前進したとの見解を表明した¹²。漳州原子力発電海洋機能区画の修正作業は2014年7月に正式にスタート。15年4月には福建省政府が同修正案を国務院に提出。国務院弁公庁は16年5月初めに正式に承認した。

【中国】【原発寿命延長】 原発の寿命延長技術研究が検証をパス

上海核工程研究設計院は2016年5月6日、親会社である国家核電技術公司から請け負った「原子力発電所の寿命延長戦略技術方案研究」が院内の検証を通過したことを明らかにした。同研究は2012年6月に立ち上げられ、監督管理の範囲や法規体系、作業工程について、米国や国際原子力機関（IAEA）の実績を参考に調査、分析した。¹³

同設計院は、検討にあたって、規制当局や原子力発電事業者、設計研究機関等と交流を重ねた。今回の研究は、国家核安全局が2016年1月に公表した「原子力発電所の運行許可証の有効期限の延長にかかる技術政策（試行）」を技術面でサポートするものと期待されている。

【中国】【原発寿命延長】 原発の寿命延長技術テーマにシンポジウム開催

中国広核集团有限公司傘下の蘇州熱工研究院は2016年5月5、6の両日、原子力発電

¹¹ <https://www.snerdi.com.cn/newsdetail.aspx?id=e4bfdc67-c147-42cb-a718-8f8b1d6b2254>

¹² <http://www.cncn.com.cn/publish/portal0/tab427/info98540.htm>

¹³ <https://www.snerdi.com.cn/newsdetail.aspx?id=d752ad05-a5a0-4a8f-a058-87f14db18e39>

所の寿命管理技術シンポジウムを開催した（=写真）。シンポジウムには中国科学院や中国工程院の院士も参加。中国の寿命管理技術の研究計画等に対して支持が示された。¹⁴

叶奇綦院士は、原子力発電所の寿命管理技術は社会・経済的な利益から見ても重要としたりうえて、経済性向上につながることから原子力発電の発展にとって不可欠との見解を示した。



出典：中国広核集团有限公司

【中国・米国】【原発寿命延長】秦山1号機の寿命延長で米国立研の協力受ける

中国核工業集团公司傘下の中核核電運行管理有限公司は2016年5月23日、米アイダホ国立研究所（INL）との間で原子力発電所の運転期間の延長（寿命延長）に関して技術交流を行った。¹⁵

中核核電運行は、浙江省の秦山1号機の運転許可証の更新プロジェクトを進めているが、この中でコンクリートの性能評価については技術的な能力が不足しているため、INLから協力を得たい考え。INLは、原子力発電所の金属材料の照射性能の監視やケーブルの老朽化研究、コンクリート構造物の照射性能評価等で多くの研究実績を持つ。

¹⁴ <http://www.cgnpc.com.cn/n471046/n471126/n471156/c1306682/content.html>

¹⁵ <http://www.cnncc.com.cn/publish/portal0/tab427/info98627.htm>

【中国】【国産第3世代炉】「華龍一号」の設備国産化率が89%に

中国が国内外で展開する第3世代炉「華龍一号」(PWR、100万kW級)の実証炉に位置づけられている福建省の福清5号機の設備国産化率が89%に達したことが明らかになった¹⁶。同機は2015年5月7日に着工している。

また中国核工業集团公司傘下のエンジニアリング会社である中国核電工程有限公司によると、「華龍一号」の輸出第一号となったパキスタンのカラチ原子力発電所では、2015年8月20日の1号機に続き、今年(2016年)6月にも2号機が着工する見通しとなった。¹⁷

【中国】【AP1000】世界初の「AP1000」で冷却材ポンプの点検動作作業が終了

世界で初めて米ウェスチングハウス社の「AP1000」(PWR、125万kW)を採用する中国浙江省の三門1号機で2016年5月22日、4台の原子炉冷却材ポンプの点検動作作業が終了した(=写真)。3月1日に4台のポンプの据付けが終わっていた。¹⁸



出典：国家電力投資集团公司

¹⁶ <http://www.china5e.com/news/news-946455-1.html>

¹⁷ <http://www.cnpe.cc/tabid/852/InfoID/98812/frtid/852/Default.aspx>

¹⁸ http://www.spic.com.cn/ttxw/201605/t20160522_263021.htm

【中国】【CAP1400】中国の大型炉「CAP1400」にIAEAがお墨付き

中国科学技術部は2016年5月11日、中国がウェスチングハウス社の「AP1000」をベースに開発した「CAP1400」（PWR、140万kW級）が国際原子力機関（IAEA）の最新の安全法規の要求に達したと発表した。IAEAと上海核工程研究設計院が同4月27日、ウィーンのIAEA本部で開催した安全評価審査検収会で、「CAP1400」の初期安全分析報告を審査したものの。¹⁹

【中国】【核燃料】「AP1000」向け核燃料生産ラインの鑑定作業がスタート

中国核工業集团公司は2016年5月23日、「AP1000」向けの中国初の核燃料要素生産ラインの事前鑑定作業が18日にスタートしたと発表した。中国に「AP1000」を技術移転した米ウェスチングハウス社の専門家が立ち会った。²⁰

「AP1000」向け核燃料要素の生産ラインは、同集団傘下の核燃料成形加工会社の中核北方核燃料元件有限公司で2012年3月28日に着工。16年3月に国家核安全局から原料投入許可を取得していた。

【中国】【官民原子力協力】中核集団が湖南省と小型炉などで協力継続へ

中国核工業集团公司の和自興副総経理と湖南省の陳向群常務副省長は2016年5月28日、湖南省と中央（国有）企業との「第13次5ヵ年」計画期の戦略協力交流会において、「中核集団と湖南省の『第13次5ヵ年』戦略協力協定」に署名した（＝写真）。それによると、両者は原子力発電や小型炉、新エネルギー、随伴ウラン資源の総合利用、ウラン鉱の探査、核燃料サイクル、陽子線治療などの分野で協力を継続する。²¹

¹⁹ http://www.most.gov.cn/kjbgz/201605/t20160510_125514.htm

²⁰ <http://www.cnc.com.cn/publish/portal0/tab664/info98598.htm>

²¹ <http://www.cnc.com.cn/publish/portal0/tab664/info98769.htm>



出典：中国核工業集团公司

【中国】【原子力グローバル人材】原発輸出めざし原子力グローバル人材養成へ

中国核工業集团公司は2016年5月18日から3日間にわたって、中国電力発展促進会原子力分科会と共同で「第1期原子力発電海外進出国際化人材研修シンポジウムを開催した。中国核能電力股份有限公司や中国核電工程有限公司、中広核工程有限公司など、16の組織から45名が参加した。²²

【中国】【イノベーション戦略】中国、自主イノベーション能力引き上げ目指す

中国共産党中央委員会と国務院はこのほど、国内総生産に占める研究試験開発経費支出の割合を2.5%に引き上げ、自主的なイノベーション能力を大幅に引き上げるなどとした「国家創新駆動發展戰略綱要」を公表し、関係機関に通知した。中央人民政府ウェブサイトに2016年5月19日、公表された。²³

それによると、産業技術体系のイノベーションを推進する一環として、次世代情報網技術の發展をはかり経済社会發展の情報化基盤を強化する。また、安全でクリーン、高効率のエネルギー技術を發展させ、エネルギーの生産・消費革命を推進するとしている。具体的には、原子力や太陽エネルギー、風力、バイオマス等のクリーンエネルギーや新エネ

²² <http://www.cnc.com.cn/publish/porta10/tab664/info98573.htm>

²³ http://www.gov.cn/xinwen/2016-05/19/content_5074812.htm

ルギー技術を開発する。

このほか綱要では、世界でもトップに位置づけられるイノベーション型企業の育成や、世界的に見ても一流の大学や学科、研究所などを作る方針を示した。

【中国】【電力消費】中国の4月の電力消費、対前年比で1.9%増

中国国家能源局は2016年5月18日、4月の電力使用量が4569億kWhとなり、対前年比で1.9%増となったと発表した。また、1月から4月までの電力使用量は1兆8093億kWhで、対前年比では2.9%増。1月から4月までの発電設備の平均利用時間は1180時間となり、前年同期に比べて97時間減少した。電源別で見ると、水力発電設備の平均利用時間は965時間となり前年同期比で99時間増加したのに対して、火力発電は1322時間となり140時間減少した。²⁴

1月から4月までの4ヵ月間に新たに運転を開始した発電所は合計3551万kW（単機出力6000kW以上）。内訳は、火力発電2192万kW、水力発電204万kWなど。これによって、4月末時点で中国の総発電設備容量は14億9960万kWに達した。

【中国】【土壌汚染】中国政府、土壌汚染対策に本腰

日本の内閣に相当する中国国務院は2016年5月28日、「土壌汚染の防止行動計画」（「国务院关于印发土壤污染防治行动计划的通知」）を各省や自治区等の関係機関に通知した。²⁵

それによると、農業用地と重点産業用地を中心として土壌汚染状況を調査し2018年末までに農業用地の汚染面積や分布状況、農産品の品質への影響を明らかにする。また、重点産業の企業向け用地の地中汚染の分布や環境リスクについては2020年末までに明らかにしたうえで、詳細調査全体計画と技術規定を策定し、技術指導や監督検査、成果の審査を行う方針を示した。

通知によると、2017年末までに土壌環境品質のモニタリング地点を定めるほか、国家土壌環境品質モニタリングネットワークを構築する。このほか、土壌汚染防止法の制定を進めるとともに、健全な法規・基準体系を構築する方針が示された。汚染拡大防止や汚染土壌の管理・修復も実施される。

²⁴ http://www.nea.gov.cn/2016-05/18/c_135367992.htm

²⁵ http://www.gov.cn/zhengce/content/2016-05/31/content_5078377.htm

【中国・インドネシア】【高温ガス炉】中国がインドネシアの HTGR 実験炉の入札参加へ

中国核工業建設集団公司（中国核建）の王寿君董事長一行は2016年5月22日から24日にかけてインドネシアを訪問。インドネシア原子力庁（BATAN）とASEAN エネルギーセンター（ACE）関係者との間で原子力協力について協議。ACE との間では「原子力技術とクリーンエネルギーの協力に関する了解覚書」を締結した。²⁶

中国核建は原子力専門のゼネコンだが、高温ガス炉（HTGR）を国内外で市場展開している。王董事長らは、BATAN との間で HTGR プロジェクトの協力について共通の認識に達した。中国核建はASEAN 内で HTGR 技術の普及や市場開拓をねらっている。

BATAN は、10MW の HTGR 実験炉に着工する計画を持っており、立地点の選定や概念設計、実行可能性研究等が終了している。現在、着工許可申請を行っており、近いうちに EPC（engineering、procurement、construction）契約の入札が実施される。

中国核建と BATAN は、HTGR 実験炉プロジェクトで協力を強化することで合意。BATAN 側は、中国核建に対して入札に参加するよう要請する。

インドネシア原子力庁関係者と協議する中国核工業建設集団一行



出典：中国核工業建設集団公司

【中国・アルジェリア】【原子力商談】大型炉や小型炉の協力を協議

アルジェリアを訪問した中国核工業集団公司の孫勤董事長は2016年5月25日、エネルギー大臣及び原子力委員長と会談。大型 PWR の「華龍一号」やモジュール方式の小型炉

²⁶ <http://www.cnecc.com/g336/s877/t19089.aspx>

「ACP100」プロジェクト等の協力について認識が一致した。²⁷

アルジェリアのエネルギー省大臣らと協議する中核集団一行（右）



出典：中国核工業集团公司

【中国・カナダ】【ウラン資源】中国とカナダ企業がウラン資源開発協力を強化へ

中国広核集团有限公司は2016年5月12日、カナダの Cameco 社と同9日、ウラン資源の共同開発を強化するなどとした協定を締結したと発表した。²⁸



出典：中国広核集团有限公司

²⁷ <http://www.cnn.com.cn/publish/porta10/tab664/info98677.htm>

²⁸ <http://www.cgnpc.com.cn/n471046/n471126/n471156/c1306800/content.html>

【中国・スーダン】【原子力協力】中国がスーダンに 60 万 kW 原発建設へ

中国核工業集团公司とスーダン水資源・電力省は 2016 年 5 月 23 日、スーダン初の原子力発電所の建設につながる 2 つの枠組み協定に調印した（=写真）。²⁹

中核集団の孫勤董事長は、水資源・電力省関係者との会談の中で、今後 10 年を見通した原子力発電開発協力ロードマップを共同で策定するとしうえで、スーダンが 60 万 kW 級の原子力発電所を早急に建設できるよう協力すると表明した。5 月 22 日から 23 日にかけてスーダンの首都ハルツームで開催された中国・スーダン政府間エネルギー協力委員会の初会合後に調印が行われた。



出典：中国核工業集团公司

【中国・ロシア】【エネルギー協力】エネルギー協力委員会が開催

中国とロシアのエネルギー協力委員会の第 13 回会合が 2016 年 5 月 30 日、ロシアのソチで開催された。中国側の代表は張高麗・副首相、ロシア側の代表はドボルコビッチ経済担当副首相。中国側からは、国家原子能機構の王毅□・副主任らが出席した。³⁰

²⁹ <http://www.cnn.com.cn/publish/portal0/tab664/info98618.htm>

³⁰ <http://www.sastind.gov.cn/n112/n117/c6424145/content.html>

【中国・ロシア】【原子力協力】中露が原発や高速炉、浮動式など協力継続を協議

中国核工業集团公司傘下の原子力発電持株会社である中国核能電力股份有限公司とロシアのアトムストロイエクスポート（ASE）社は2016年5月30日、モスクワで中露原子力協力共同作業グループ会合を開き、プロジェクト管理能力の改善や新規原子力発電プロジェクトの開発等について意見交換した（=写真）。³¹

中国側は「第13次5ヵ年」計画の状況について説明。新規プロジェクトの開拓に関する協力を継続するとともに、双方が国内外で進める原子力発電プロジェクトや高速炉、浮動式原子力プラント分野での協力継続を表明した。



出典：中国核工業集团公司

【中国・韓国】【原子力協力】中・韓共同で原発の事故リスク評価へ

韓国の未来創造科学部（省）は2016年5月25日、北京で26、27の両日開催される中韓原子力協力合同委員会の場で、中国側に対して原子力発電所の事故リスク評価技術の共同開発を提案する考えを明らかにした。³²

³¹ <http://www.cnc.com.cn/publish/portal0/tab664/info98775.htm>

³² <http://www.cnc.com.cn/publish/portal0/tab664/info98697.htm>

【中国・米国】【原子力協力】 中国国有原子力大手が米 DOE と原子力協力を協議

国有原子力大手である中国核工業集团公司の銭智民総経理は2016年5月6日、米エネルギー省のジョン・コテック原子力担当次官補と会見（＝写真）。世界の原子力発電の動向や米国の原子力発電技術開発ならびに使用済み燃料管理の現状について情報交換を行うとともに、原子力協力をさらに強化することで認識が一致した。³³



出典：中国核工業集团公司

³³ <http://www.cnn.com.cn/publish/portal0/tab293/info98291.htm>

【中国・米国】【進行波炉】中・米企業が「進行波炉」で協議

中国核工業集团公司の錢智民総経理は 2016 年 5 月 11 日、米国テラ・パワー社の Lee McIntire 最高経営責任者（CEO）と会見し、協力プロジェクトの進展状況について意見交換した。中核集団とテラ・パワー社は「進行波炉」と呼ばれる第 4 世代原子炉を共同開発するとして了解覚書を 2015 年 9 月に締結している。³⁴



出典：中国核工業集团公司

³⁴ <http://www.cnn.com.cn/publish/portal0/tab426/info98386.htm>